

# ハンセン病と闘いつづける人々の証言と 100年にわたる歴史を描いた問題作

大阪 劇場 初公開  
シネ・ヌーヴォ  
にて



製作/鶴久森典妙  
監督/高橋一郎  
語り/鈴木瑞穂  
日本・2012年・カラー  
上映時間: 143分  
ドキュメンタリー映画  
○「もういいかい」映画製作委員

ハンセン病と三つの法律

もういいかい

## 国の政策に翻弄され、失われたアイデンティティと名譽の回復！ハンセン病 強制隔離90年の歴史を語る

住み慣れた地で家族と平和に暮らしたい—そんな素朴な、ごく当たり前の願いが、ある日突然、国策という名のもとに奪い去られた人たちがいました。彼らの運命を決定づけたのは三つの法律—「癩予防二関スル件」(明治40年)、「(旧)癩予防法」(昭和6年)「(新)らい予防法」(昭和28年)です。

強制隔離された人たちは、名前を変えさせられ、ふるさとへの帰郷は許されませんでした。ハンセン病という理由だけで、この地でひたすら死を待つ生活を強いられたのです。人々の視界から消し去られ、記憶の外に追いやられた人たち。子孫断絶を強いた断種・墮胎、園内労働による手足の障害、懲戒検束規定による監房・重監房、国を挙げての無癩県運動…。

この映画は療養所の中で何が行われ、入所者はどのような生活を送っていたのか、多くの証言に基づいてその仕組みと実態を検証し、三つの法律をもとに展開された絶対隔離政策等、百年にわたるハンセン病の歴史を描いた作品です。(2時間23分)



### 人は「病む」存在

ハンセン病問題はこれからの私たちの社会を考える上で大切なことを教えてください。それは「すべての病む人が安心して生きていける社会を作ること」です。人は病む存在です。どんな病を抱えていても人は平等に生きていく権利を持っています。私たちが病気になっても安心して生きていくため、ハンセン病問題は繰り返し語らねばならないと思います。 監督・高橋一郎



4月12日(土) ~ 25日(金) ロードショー!!

上映時間 4月12日(土)~18日(金) ①11:30 ②18:30【4/17(木)18:30の回休映】  
4月19日(土)~25日(金) ①11:30 (1回のみ)

地下鉄中央線 一本町 九条駅

シネ・ヌーヴォ

地下鉄中央線「九条駅」6号出口徒歩3分  
阪神なんば線「九条駅」2番出口徒歩3分

TEL.06-6582-1416  
http://cinenuveau.com/

料金/一般 ¥1,500  
学生・シニア・会員・高以下 ¥1,000

大阪市西区九条 1-20-24

もういいかい  
シネ・ヌーヴォ

4月12日~18日 ①11:30 ②18:30  
【4/17(木)18:30の回休映】  
4月19日~25日 ①11:30 (1回のみ)

特別割引券

一般 1,000円  
(当日1,500円のところ)  
1枚で2名様まで有効です